株式会社マツオカコーポレーション

2027年３月期第２四半期
決算補足説明資料



証券コード3611

2026年11月12日

MATSUOKA

INDEX

1 2027年３月期第２四半期 決算概要

2 2027年３月期 連結業績見通し

3 プロジェクト進捗報告

Appendix



MATSUOKA

INDEX

1 2027年３月期第２四半期 決算概要

2 2027年３月期 連結業績見通し

3 プロジェクト進捗報告

Appendix



業績ハイライト

売上高	営業利益	為替差損益 調整後営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益
41,256 百万円	967 百万円	1,871 百万円	2,229 百万円	1,212 百万円
前年同期比 ＋18.5 %	前年同期比 △0.6 %	前年同期比 △28.1 %	前年同期比 △12.4 %	前年同期比 △0.7 %

売上高

■ 縫製事業において、継続的な生産能力の拡大を背景に、カジュアルウェアを中心とした受注の増加に着実に対応。販売枚数の増加により、売上高は大幅な増収となった。

為替差損益調整後営業利益

■ 縫製事業での増収効果があった一方、元高・ドル安による中国調達品のドル換算コストの上昇や原材料価格の上昇に加え、生産能力拡大に伴う先行コストが利益を押し下げ減益。

■ ラミネーションフィルム事業では、為替変動や原材料価格の上昇等による負担が利益圧迫につながった。

経常利益

■ 為替差損益調整後営業利益の減益に加え、財務取引から発生する為替差損が増加し、前年同期比で減益。

© 2026 MATSUOKA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

2027年３月期第２四半期 連結損益概要

（単位：百万円）

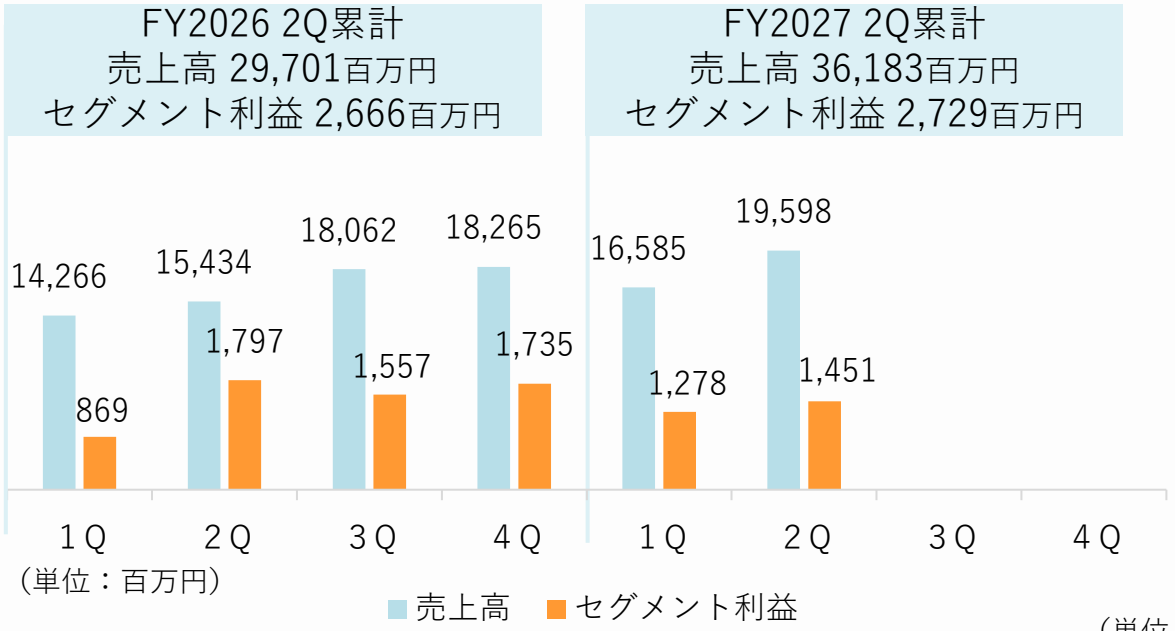
	2026年３月期 第２四半期	2027年３月期 第２四半期	増減	増減率
売上高	34,828	41,256	+6,427	+18.5%
営業利益	973	967	△5	△0.6%
為替差損益調整後営業利益	2,603	1,871	△731	△28.1%
経常利益	2,544	2,229	△314	△12.4%
親会社株主に帰属する中間純利益	1,220	1,212	△8	△0.7%

為替レート		2026年３月期		2027年３月期	
		（25／６） 子会社	（25／９） 当社	（26／６） 子会社	（26／９） 当社
＜円／USD＞	期中平均	148.4円	146.0円	158.3円	159.5円
	期末	144.8円	148.9円	162.4円	157.4円
＜円／元＞	期中平均	20.4円	―	23.1円	―
	期末	20.2円	―	23.9円	―

※当社グループのうち期末決算において９月時点の為替レートを使用するのは、当社及びMYANMAR POSTARION CO.,LTDで、その他の子会社は６月時点の為替レートを使用しております。

© 2026 MATSUOKA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

縫製事業



（単位：百万円）

	2026年３月期 第２四半期	2027年３月期 第２四半期	増減	増減率
売　上　高	29,701	36,183	+6,482	+21.8%
セグメント利益	2,666	2,729	+63	+2.4%
販　売　枚　数	2,736万枚	3,199万枚	+462万枚	+16.9%
【参考】為替差損益調整後営業利益	2,635	2,238	△397	△15.1%

- ベトナム、インドネシア、バングラデシュにおいて、前中期経営計画期間に新設した工場を含む生産基盤を背景に、顧客ニーズや需要動向に応じた生産ラインの増設や人員の採用を継続し、生産量の拡大を進めた。また、品質及び生産性の向上に向けた技術教育にも継続して取り組んだ。
- こうした生産体制の強化を背景に、受注の増加に着実に対応した結果、販売枚数が増加し、売上が拡大した。
- カジュアルウェアを中心に、インナーウェアや寝装・寝具の受注が増加。
- 一方、コスト面では、元高・ドル安により原材料をはじめとする中国調達品のドル換算コストの上昇に加え、原油・エネルギー価格の高止まりに伴うインフラコストの上昇の影響を受けた。
- 工場の生産能力拡大に伴う先行コストの発生も、利益の伸びを抑える要因となった。
- 為替要因による減益に対しては、決済通貨の変更を進め、為替変動リスクの低減を進めている。
- 下半期以降も、強みである工場の運営、育成力を活かし、着実な生産性の改善に取り組む。

© 2026 MATSUOKA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

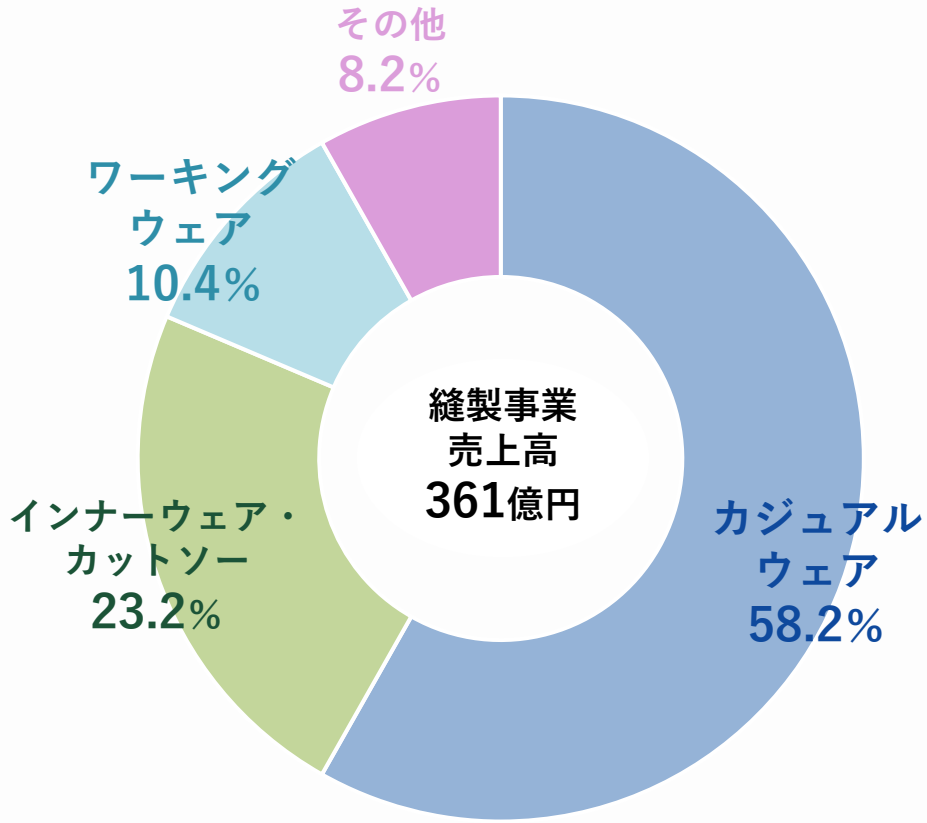
縫製事業 - 品目別売上高

（単位：百万円）

縫製事業/品目	2026年３月期 第２四半期	2027年３月期 第２四半期	増減	増減率
カジュアルウェア	18,847	21,058	＋2,210	＋11.7%
インナーウェア・カットソー	6,879	8,393	＋1,514	＋22.0%
ワーキングウェア	3,159	3,762	＋603	＋19.1%
その他※	815	2,969	＋2,153	＋263.9%
合計	29,701	36,183	＋6,482	＋21.8%

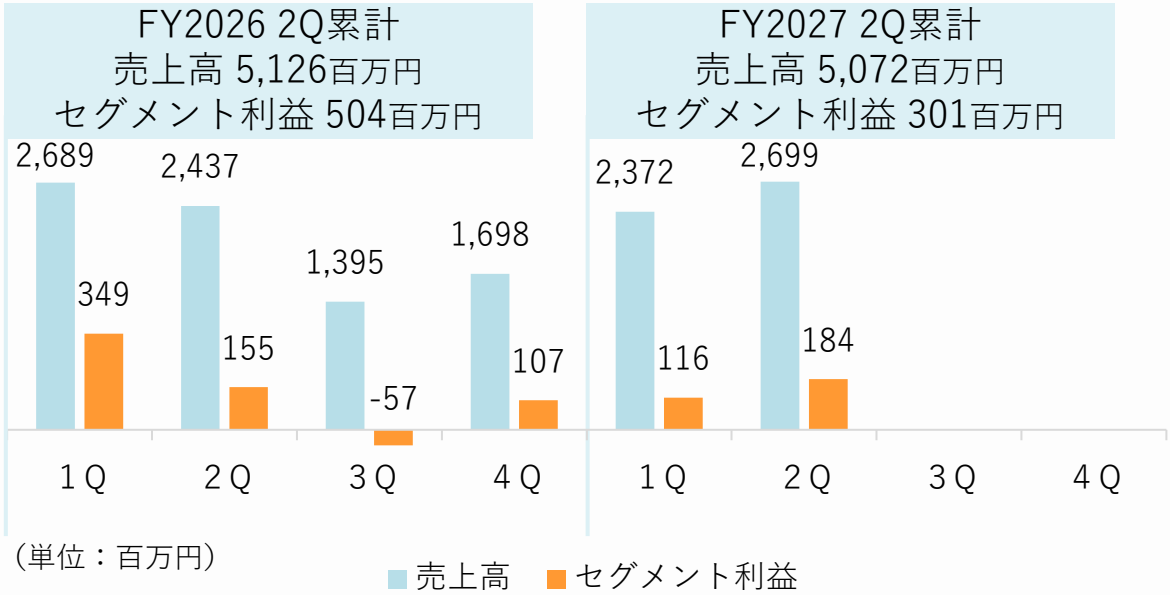
※「その他」カテゴリ
布団、枕、寝具カバーなどの寝装・寝具の販売拡大が牽引。これらは衣料品からアイテム転換した中国工場で生産しており、機械化・省人化を進めやすい商材。

2027/３期 ２Q（実績）



© 2026 MATSUOKA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

ラミネーションフィルム事業



（単位：百万円）

	2026年３月期 第２四半期	2027年３月期 第２四半期	増減	増減率
売　上　高	5,126	5,072	△54	△1.1%
セグメント利益	504	301	△202	△40.2%
販売ヤード数	875万ヤード	840万ヤード	△35万ヤード	△4.0%
【参考】為替差損益調整後営業利益	545	309	△235	△43.2%

- ベトナム工場においては、中国から移管される生産需要を取り込み、販売拡大につなげた。
- 中国工場では中国国内及び欧米市場向けの需要回復が想定より弱く、販売が伸び悩む。
- 売上高、販売ヤード数は前年並みを維持したものの、為替変動や原材料価格の上昇等による負担が利益を押し下げる要因となった。
- 中国国内向けの営業強化に取り組んでおり、新規採用が決まり始めている。こうした新規取引におけるロットの拡大を図るとともに、季節による需要変動の影響を受けにくい資材分野への展開を進めていく。

© 2026 MATSUOKA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

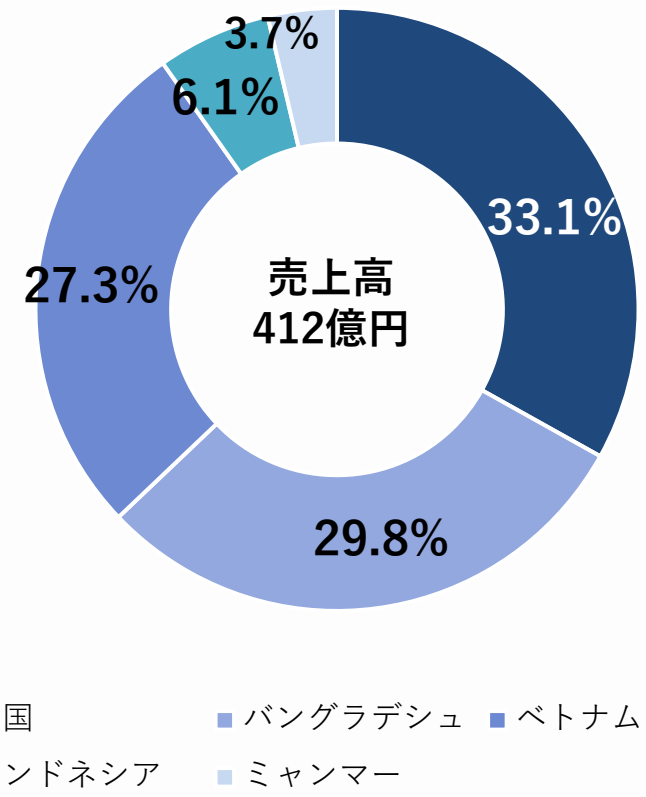
生産地域別売上高

（単位：百万円）

生産地域	2026年３月期 第２四半期	2027年３月期 第２四半期	増減	増減率
中国	12,156	13,677	＋1,521	＋12.5%
バングラデシュ	10,494	12,286	＋1,792	＋17.1%
ベトナム	9,490	11,248	＋1,753	＋18.5%
インドネシア	1,316	2,517	＋1,201	＋91.2%
ミャンマー	1,370	1,525	＋154	＋11.3%
合計	34,828	41,256	＋6,427	＋18.5%

※縫製事業における各国の主要生産品目（2026年時点）
中国…カジュアルウェア、寝装・寝具
ベトナム…カジュアルウェア
バングラデシュ…インナーウェア・カットソー、ワーキングウェア
インドネシア…カジュアルウェア
ミャンマー…カジュアルウェア、ワーキングウェア

2027/３期 ２Q（実績）



© 2026 MATSUOKA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

連結貸借対照表

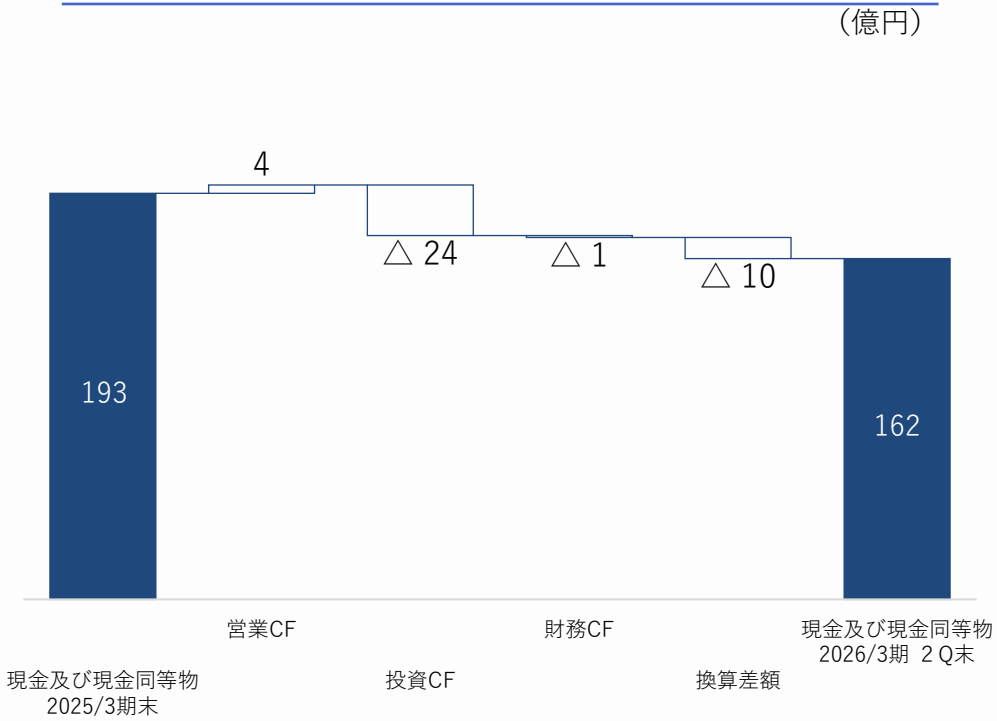
（単位：百万円）

		2026年３月期	2027年３月期 第２四半期	増減	増減率
資産合計		75,174	87,512	+12,337	+16.4%
	流動資産	50,118	61,236	+11,118	+22.2%
	有形固定資産	20,987	22,072	+1,084	+5.2%
	その他	4,068	4,203	+134	+3.3%
負債合計		31,615	39,350	+7,734	+24.5%
	流動負債	19,825	25,918	+6,092	+30.7%
	固定負債	11,790	13,432	+1,641	+13.9%
純資産合計		43,558	48,162	+4,603	+10.6%
自己資本		39,939	41,778	+1,839	+4.6%
自己資本比率		53.1%	47.7%	△5.4p	―
有利子負債残高		14,947	19,033	+4,086	+27.3%
D／Eレシオ		0.48倍	0.60倍	+0.12p	―

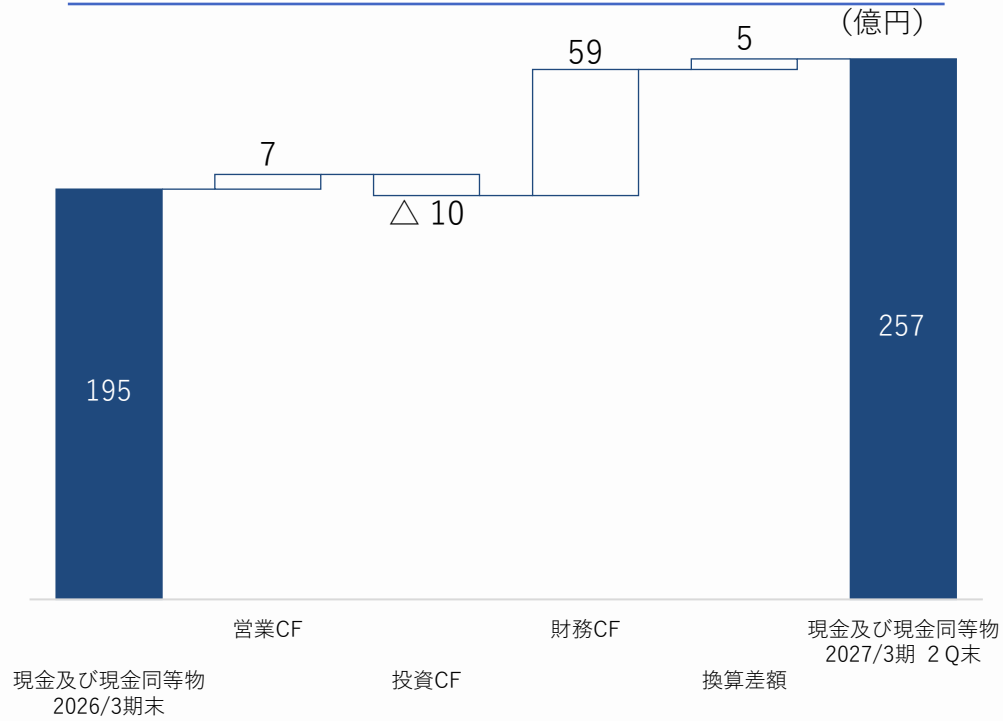
© 2026 MATSUOKA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

連結キャッシュ・フロー計算書

2026/３期 ２Q末CF



2027/３期 ２Q末CF



≪キャッシュ・フロー≫

- 営業CFは、税金等調整前中間純利益の計上(22億円)、仕入債務の増加(31億円)、減価償却費の計上(11億円)があった一方で、棚卸資産の増加(46億円)、法人税等の支払額 (10億円)等により、７億円の収入。
- 投資CFは、有形固定資産の取得による支出 (16億円)等により、10億円の支出。
- 財務CFは、短期借入金の純増額(31億円)、非支配株主からの払い込みによる収入(26億円)、長期借入れによる収入(20億円)があった一方で、 配当金の支払額 (10億円)、長期借入金の返済による支出(６億円)等により、59億円の収入。

© 2026 MATSUOKA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

MATSUOKA

INDEX

1 2027年３月期第２四半期 決算概要

2 2027年３月期 連結業績見通し

3 プロジェクト進捗報告

Appendix



2027年３月期　定量計画

- 2026年５月発表の通期業績予想から変更ありません。

（単位：百万円）

	2026年３月期 実績	2027年３月期 計画	増減	増減率	2027年３月期 第２四半期	進捗率
売上高	74,251	80,000	+5,748	+7.7%	41,256	51.6%
営業利益	2,174	3,400	+1,225	+56.3%	967	28.5%
為替差損益調整後営業利益	4,813	5,300	+486	+10.1%	1,871	35.3%
経常利益	5,391	4,900	△491	△9.1%	2,229	45.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,117	3,400	+282	+9.1%	1,212	35.7%
販売枚数（縫製事業）	6,350万枚	7,000万枚	＋649万枚	+10.2%	3,199万枚	45.7%
販売ヤード数（ラミネーションフィルム事業）	1,364万ヤード	1,500万ヤード	＋135万ヤード	+9.9%	840万ヤード	56.0%

為替レート		2026年３月期		2027年３月期
		（25／12）子会社	（26／３）当社	通期想定レート
＜円／USD＞	期中平均	149.6円	150.7円	151.3円
	期末	156.6円	159.9円	152.0円
＜円／元＞	期中平均	20.8円	―	21.2円
	期末	22.4円	―	―

© 2026 MATSUOKA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

MATSUOKA

INDEX

1 2027年３月期第２四半期 決算概要

2 2027年３月期 連結業績見通し

3 プロジェクト進捗報告

Appendix



プロジェクト進捗報告

インドネシア新工場　整地完了



整地前



整地後

プロジェクト概要

インドネシアにて２つ目となる縫製工場を新設予定

＋300万枚

インドネシアでの生産枚数の増産見込み
（中期経営計画最終年度：2029年３月期、2026年３月期比）

建設スケジュール

当初計画から着工時期に数カ月の遅れが生じております。
下記のスケジュールを目指しております。

現在
造成工事を進め
敷地の整地が完了

2027年３月頃
着工

2028年はじめ頃
テスト生産開始

業績への影響

この遅れによる業績予想や中期経営計画の
目標への影響は限定的と見ております。

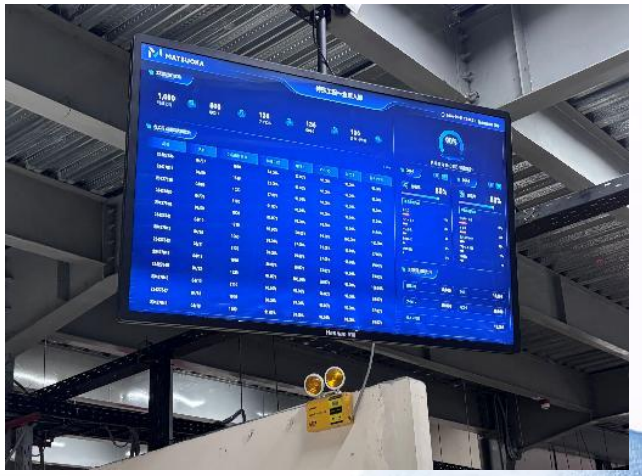
© 2026 MATSUOKA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

プロジェクト進捗報告

デジタルプラットフォームプロジェクト　パイロット工場への設備導入が完了







※モニターはすべてデモ画面です。

導入状況

パイロット工場であるバングラデシュのIMBD工場、
ベトナムのタンチュオン工場への設備導入が完了しました。
本格稼働に向けたテストや従業員のトレーニングを進めております。

名称変更のお知らせ

目的や内容をより正確に表現するため、
「スマートファクトリー化プロジェクト」は
「デジタルプラットフォームプロジェクト」へ名称を改めました。
これまでお伝えしてきた内容に変更はございません。

© 2026 MATSUOKA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

MATSUOKA

INDEX

1 2027年３月期第２四半期 決算概要

2 2027年３月期 連結業績見通し

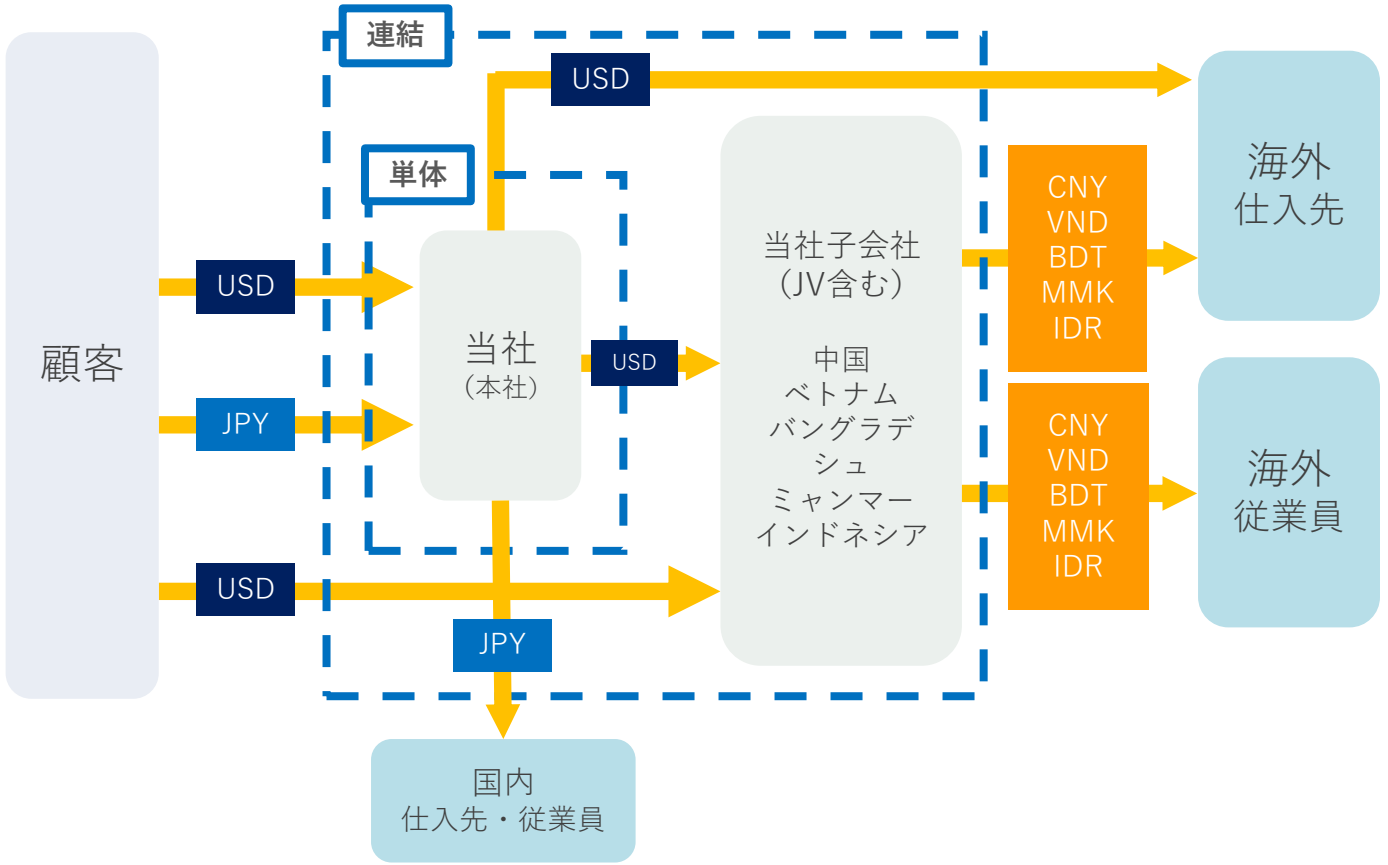
3 プロジェクト進捗報告

Appendix



為替の影響及び「為替差損益調整後営業利益」について①

- 当社グループ事業の売上収入は、約７割が米ドル、残りの約３割が他の通貨（主に日本円と中国元）。
- 米ドル収入は、主に海外原材料仕入や海外子会社工場への縫製加工賃送金等の支出に充て、日本円収入は当社（本社）の国内原材料仕入、販管費等支出や納税、借入金返済、剰余金配当等の支出に充当。
- 海外子会社工場では、主として日本からの米ドル縫製加工賃を現地通貨に両替し、人件費等を含む工場運営経費の支出に充当。
- このような収支構造から、当社グループに残る現預金残高の約５割が米ドルとなる。



※通貨略称　JPY：日本円、USD：米ドル、CNY：中国元、VND：ベトナムドン
BDT：バングラデシュタカ、MMK：ミャンマーチャット、IDR：インドネシアルピア

© 2026 MATSUOKA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

為替の影響及び「為替差損益調整後営業利益」について②

■ 当社グループの収支構造では、為替変動によって、海外子会社損益計算書の製造原価、販売費及び一般管理費の円換算額が変動する。一方で取引先との個別契約等による為替変動リスクヘッジの効果は、日常的な営業取引決済等から発生する為替差損益として、損益計算書において営業外損益に計上される。これらの為替差損益は当社の営業取引（本業）から生じると考え、営業取引から発生した為替差損益を調整した事業損益を算定し「為替差損益調整後営業利益」として開示している。

■ **計算式：為替差損益調整後営業利益 ＝ 営業利益 ＋ 営業取引から発生した為替差損益**

注：為替差損益の分類方法は以下の通り。

営業取引から発生した為替差損益：売掛金及び買掛金から生じる決済差額及び換算差額、並びに為替レート差に起因する連結相殺差額

財務取引から発生した為替差損益：現預金、貸付金及び借入金から生じる決済差額及び換算差額

（単位：百万円）

	2026年３月期 第２四半期	2027年３月期 第２四半期	増減	増減率
売上高	34,828	41,256	＋6,427	+18.5%
営業利益	973	967	△5	△0.6%
為替差損益	1,541	710	△830	△53.9%
うち営業取引から発生したもの	1,630	904	△726	△44.6%
うち財務取引から発生したもの	△89	△193	△104	-
為替差損益調整後営業利益	**2,603**	**1,871**	**△731**	**△28.1%**
経常利益	2,544	2,229	△314	△12.4%

© 2026 MATSUOKA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

本資料の取り扱いについて

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から経営者の判断に基づいて作成されており、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

本資料における表示方法について
数　　値：単位未満を切り捨て
比　　率：１円単位の金額で計算後、単位未満四捨五入
会計期間：連結・当社、国内および海外子会社の会計期間は次のとおり

	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	通　　期
連結・当社・ミャンマー子会社	４月～６月	７月～９月	10月～12月	１月～３月	４月～翌年３月
その他の海外子会社	１月～３月	４月～６月	７月～９月	10月～12月	１月～12月

本資料に関するお問合せ先

株式会社マツオカコーポレーション
経営企画部　広報IR課

https://www.matuoka.co.jp/

info_ir@matuoka.co.jp

公式SNSアカウント

@matsuokacorp_official

@matsuokacorp_ir

© 2026 MATSUOKA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

MATSUOKA

できる、を創る。